

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成 31 年 1 月 10 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」長野駅前校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			1 時間の個別支援あたり 3 名の定員であるため適切なスペースを確保し療育を行っています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			お子様に楽しく通っていただけるよう、工夫した教具教材を取り入れています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			室内は掲示物を分かりやすくしたり支援を受けやすいように物品を整理したりするなどの配慮を行っています。段差のある設備についてはお子様が安全に使用できるよう指導員が補助しています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日次・週次で職員参加のミーティングを実施し、振り返りや目標の見直しを行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様へ満足度調査アンケートを実施し、業務改善につなげています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			当社 HP にて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			現在は、利用者・社内の 2 者評価をとっております。第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討してまいります。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			1 ヶ月の初任者研修を実施し、その後もすべての指導員に継続的に研修をおこなっています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			計画期間ごとにアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			統一したアセスメントシートを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			お子さまの事例を共有・議論するケース検討会を開催しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			お子さま一人ひとりの特性や気持ち・興味に合わせて、効果的に楽しく学べる指導を追求しています。次の学びにつながる成功体験を重視し、やりたくないことをやらされるのではなく、お子さまが自発的に適切な行動を取れる、学びやすい指導環境を整えています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、個別支援計画を策定しています。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個別療育が主体ですが、集団での活動につながるようなプログラムを組んで支援を行っています。また月に1度小集団活動のイベントを企画し実施しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼を日次で実施し、職員間での情報共有をおこなっています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終礼を日次で実施し、職員間での情報共有をおこなっています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎回支援記録をとり見直すことで、お子様の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6ヶ月に1度計画更新を行っていますが、保護者様との振り返りや職員間での情報共有の中で新たに課題が挙げられた場合は、その都度見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、個別支援計画を策定しています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		お子様の支援について担当制はとっておりませんが、児童発達支援管理責任者をはじめ教室内全てのスタッフがお子様の状態を把握しチームでの支援を展開しています。会議には児童発達支援管理責任者と指導を担当するスタッフ1名程度で参画することが多くなっております。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		適正なご利用となるように、不明な点があればその都度学校と連絡を取り確認を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		医療職スタッフがいないため、医療的ケアが必要なお子様の受け入れに際しては、主治医等のご意見を確認した上で、慎重に判断しております。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		幼少期の様子の確認が必要な場合、関係機関と情報共有を行い、その後のより良い支援に生かしています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		ご家庭の要望に沿って関係機関と連絡を取り、それまでの支援の様子などについての情報提供を行っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		外部専門家による研修や教材・プログラムの監修をおこなっています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	交流については、限られた指導時間の中で実施が難しいことから、イベント等で利用者全員に画一的

					に実施することはしておりませんが、必要な場合は支援計画に位置付けた上で実施いたします。
	⑳ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○			部会や会議等に参加できるよう努め、より良いお子様の支援につなげるために情報共有を行っています。
	㉑ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回の支援終了後に、保護者様へフィードバックの時間を設けています。
	㉒ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			支援後のフィードバック時に家庭での対応方法についてアドバイスしています。加えて当社にて実施しているペアレントトレーニングについて、情報提供を行っています。また、職員がペアレントトレーニングの知識を習得できるよう、研修を行っています。
保護者への説明責任等	㉓ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			運営規程、利用者負担等について、契約時に丁寧にご説明するとともに事業所内に重要書類を掲示しています。具体的な支援の内容については、個別支援計画の提示面談時に説明するとともに毎回の支援終了後に保護者様へフィードバックの時間を設けています。
	㉔ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			主に支援後のフィードバック時に相談に応じております。
	㉕ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			座談会等を随時実施しています。
	㉖ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			事業所に苦情受付者・解決責任者を選任する等の受付体制を整えるとともに、専用のお問い合わせ窓口電話を設置しています。いただいた苦情に対しては、社内フローを定め迅速かつ適切に対応しています。
	㉗ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			教室内に活動内容やイベントのご案内等を掲示しています。
	㉘ 個人情報に十分注意しているか	○			個人情報が記載された書類は鍵付き書庫に保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っています。
	㉙ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			合理的配慮を推進し、お子様・保護者様の状態に応じて、ICT やその他視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達等を実施しております。
	㉚ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			月に1度イベントを開催し、無料で見学・体験できる機会を設けています。
非常時	㉛ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを策定し、定期的に研修・訓練を実施しています。

等 の 対 応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月 1 回の避難訓練を実施しています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		マニュアルを策定し、研修を実施しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		マニュアルを策定し、研修を実施しています。保護者様へは、契約時に丁寧に説明し、個別支援計画の特記事項にも記載しています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		全てのお子さまについて、アレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質との接触が起こらないよう留意しております。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 10 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」長野駅前校 保護者等数（児童数）6（7）回収数6 割合100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	2	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	0	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	5	0	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	5	1	0	
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	5	1	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	5	1	本人の現在の様子から、その機会の必要性を感じてはいない。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6	0	0	15分のフィードバックがとても良い。月1, 2回ほどしか病院の療育も通えないので本当にありがたい。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	1	0	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	6	0	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1	0	苦情はまだないが、誠実に対応してくれると思う。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	0	0	とてもされていると思う。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2	0	
非常時	⑭	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	1	0	

等 の 対 応	⑬	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	2	0	
	⑭	子どもは通所を楽しみにしているか	5	1	0	本人は「特に楽しみではない」と言っているが楽しそう。
満 足 度	⑮	事業所の支援に満足しているか	6	0	0	高校生にもなると「楽しい！」だけでは間に合わず、しっかり困り事に寄り添って問題解決できるよう一緒に考えてもらえることが本当にありがたい。一緒に計画してもらい、お陰で家庭学習の習慣がついてきた。

放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。